

## 大阪実行委員会ニュース

連絡先：大阪市中央区谷町7丁目3-4 新谷町第3ビル210号室 大阪原水協 TEL(06)6765-2552

## 被爆者の思いつなぐ行進



## 「このままでは笑顔で死ねない」 被爆者のメッセージ

行進5日目は住吉区役所 大阪城公園 中之島公会堂 都島区役所 大宮南公園と、大阪市内のコースでした。住吉区役所の出発集会では、地元の被爆者で88歳になる高木静子さんからのメッセージが読み上げられました(左上)。「4回入院しました、88歳、米寿を迎えました。このままでは笑顔で死ねません。医療を発達させた一方で、核兵器を作るなど、人間とは愚かな存在です。核廃絶まではまだ遠いですが、それでもがんばる皆さんがいます。私も被爆者として頑張ります」という趣旨のメッセージが寄せられています。



そして行進中、沿道にあるマンションを見上げると、「歓迎 国民平和大行進」という横断幕がベランダに掲げられています(左上から2番目)。高木さんの自宅マンションのベランダの6階から、高木さんの支援者がこの横断幕を掲げ、手をふって行進参加者を激励していました。参加者はベランダを見ながら勇気づけられました。



## 多彩な参加者が行進を賑わす

## ドラムでアピール

この日は、アピールも前日までのトランペットやピースコール、歌に加え、ドラムも登場(左上から三番目)。山内さんのトランペットと元気な歌と、低いドラムでいっそう迫力のあるアピールが繰り広げられました。

## 初参加の女性 歌声で魅了

この日の行進は、飛び入り参加の方もいました。ある男性は「No WAR」と書いた手製のプラカードを持って都島区から参加。また、同じく都島区から参加した初参加の女性・シンガーソングライターの徳井由美子さんは、オリジナルソングで参加者を魅了しました(左下)。徳井さんは、参加した理由について「原発問題に関心がある。核兵器と原発は同じだと思うから」と述べ、社会運動に興味をもった理由について「3.11以降、原発をめぐる問題などを通じて政治のおかしさを感じた。」と語りました。



この日、沿道の市民から協賛金もいただくなど、反核平和運動のすそ野の広がりを実感させる出来事が続きました。

平和行進の速報が見ることができる大阪原水協のHPはこちら

<http://www.osk-gensuikyo.jp/>